

『令和6年度SSH ベトナム社会主義共和国海外研修』を実施しました

今年度のSSH ベトナム社会主義共和国海外研修を令和7年1月5日（日）～10日（金）にかけて、ホーチミン市を中心に実施しました。参加者は選考を経た生徒8名（男子4名、女子4名）、引率教員2名の計10名でした。日程概要は以下の通りです。

- 1月 5日（日） 青森～ホーチミン
- 1月 6日（月） 終日：カンザー国立公園
- 1月 7日（火） 午前：ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学
午後：金八神漁網株式会社ヴィネックス工場
- 1月 8日（水） 終日：ベトナム国家大学ホーチミン市天然資源環境大学
- 1月 9日（木） 午前：国立大学高校
午後：戦争証跡博物館
ホーチミン発
- 1月10日（金） ～仁川～青森

航空機の遅延などがあり、入国・出国が深夜になったことを除けば、現地での日程は順調に進み、実りのある研修となりました。

ホーチミン市工科大学・ホーチミン市天然資源環境大学・国立大学高校

双方の学校紹介、研究発表、キャンパスツアー、コンテスト形式の協働作業、交流活動などを行いました。最初の研究発表は文字通り手に汗を握りながら行っていましたが、回を重ねるたびに堂々に行えるようになっていきました。質疑応答の際には本質的で鋭い質問を前に、自らの研究をまだまだ深めていかなければならないこと、そして英語力やコミュニケーション能力のさらなる向上の必要性に気づかされ、今後の探究活動や英語学習への取り組みに対する意欲が高まっているようでした。また、研究発表や協働作業に対する訪問先の大学の教授や高校の先生方からいただいた講評は、今後の活動の参考となるとともに、大いに励みになるものでした。

カンザー国立公園・戦争証跡博物館

ホーチミン郊外で、熱帯の植生および動物を観察しました。現在は植林によりマングローブ林が復活しているものの、ベトナム戦争当時、枯葉剤により壊滅的に破壊された場所であるとのことでした。現在の自然の豊かさと戦争当時の惨状を示す展示物などを見比べ、さらに、戦争証跡博物館での学びも加わり、科学の平和的利用について深く考える機会となりました。

金八神漁網株式会社ヴィネックス工場

本校OBである代表取締役 神 慶太 氏から、環境に配慮した製品開発や消費者のニーズを把握するための取り組み、海外での事業展開に関するエピソードなど、多岐にわたる講義をいただきました。県内・国内にとどまらず、広く海外で活躍する先輩の姿に触れ、自分たちもグローバルな視点を身に付けなければと感じていたようでした。



1月5日(日) 出発式



1月6日(月) カンザー国立公園



1月7日(火) ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学



1月7日(火) 金八神漁網株式会社ヴィネックス工場



1月8日(水) ベトナム国家大学ホーチミン市天然資源環境大学



1月9日(木) ベトナム国立大学高校